



指導者制度の変更について

2023年12月28日
公益社団法人日本ラクロス協会

はじめに

この度、日本ラクロス協会は指導者制度を見直すことに致しました。

新制度については、2025年度から施行されます。
2024年度までは移行期間となり、
現在、指導者級を保有している方には順次ご対応いただきます。

本資料は以下①～⑤で、構成されています。

- ① 指導者制度の変更の背景
- ② 新指導者制度の要件一覧
- ③ 現制度と新制度の要件対照表（各級）
- ④ 現制度からの移行について（各級）
- ⑤ Q&A（よくあるご質問）

①指導者制度の変更の背景(1)

日本ラグロス協会（JLA）は、12年ぶりに指導者資格制度を大きく変更します。

この変更は、一定の成熟を迎えた日本ラグロスが次のレベルに行くための、重要な施策の一つだと考えています。

そもそも日本ラグロスの指導者制度がどのようなものなのか、そして今後どこを目指していくのかをお伝えしたいと思います。

=====

2022年、2023年に開催された各世界大会で、日本代表は次々と好成績を収め、称賛を受けました。

「なぜJAPANは、選手のほとんどが大学から始めていて、NCAAプレイヤーもおらず、コーチも皆日本人なのに、こんなに強いのか。」
「日本の競技指導の仕組みは一体どうなっているのか？」

現在アジアを中心に、いくつもの国から、JLAの指導者制度を参考にしたいので話を聞かせて欲しいという問い合わせが来ています。
日本の中では当たり前なことではなかなか気付かせませんが、日本ラグロスの指導者制度は、世界から高い注目を集めるようになっていきます。

2003年に指導者認定制度を立ち上げ、2014年にJLAcademyが創設されました。

JLAcademyの目標は、「**ラグロス特有の主体的な行動と創造的な思考を大切にする文化の継承**」にあります。

指導者認定講習会では「ラグロスの知識や技術をインプットするスキル」ではなく、「選手が自ら考える力とプロセスを引き出す方法」や「チームをより良い成長サイクルに導く方法」、「安全管理やコンプライアンス含めて、より良いチームマネジメントを実現する方法」を中心に教えており、そのためにコーチ自身が成長し続けることの大切さを説いています。

ラグロスも、チーム作りも、選手や部員が自ら考え試行錯誤して成長することが望ましい。
そのため指導者には、答えではなくヒントや気付きを与えることで選手やチームの成長を促進させることが求められる。

これが、JLAcademyが日本ラグロスの成長を第一に考えて目指してきた、理想的な指導者のあり方です。

2019年にA級指導者の在籍が学生リーグ戦出場の要件となり、多くのチームに配置されることで、この文化は一定以上浸透したと考えています。

①指導者制度の変更の背景(2)

今回の指導者制度の変更では、以下①②③に順次取り組みます。

①A級指導者の質的向上

これまでは「全ての学生チームにA級指導者を配置する」ことを最優先とし、指導級の有効期間を長めに設定（A級は7年、B級は5年）していました。また、A級指導者資格を取得した人に対するアフターフォローは未整備でした。

今回の変更により、定期的なリフレッシュ講習（A級は2年毎、後述するS級は3年毎）を義務付け、指導者としての成長を促し、最新のラクロス情報やルール変更などをアップデートする機会を提供します。

将来的には、トレーニングやデータ分析など、具体的・専門的な技術や知識についても体系化を行い、効率的に成長できる環境を整備することも検討しています。

②B級を「導入級」とし、A級を「基礎級」に

これまでB級は初級、A級は上級という位置づけでしたが、今後はB級を導入級とし、A級を基礎級、後述するS級を上級という位置づけに変更します。

それに伴い、各地区学生リーグ戦において、A級以上の指導者のみがコーチとしてベンチ登録できる形に変更されます。
（※一定の条件下でB級指導者も、コーチとしてベンチ登録可能です。）

③S級指導者の認定制度の整備

これまでのS級指導者は、長年強化部活動・代表活動に関わっていて、高い成果を挙げていた指導者を対象にJLAcademyが個別に推薦していましたが、今回の変更に伴い、S級認定講習会とリフレッシュ講習会を新設します。

S級指導者には日本ラクロス全体の成長をミッションとして求め、主にA級指導者の指導・育成及びマネジメントと、各種日本代表チームのコーチを担う存在となっていただきます。

【参考】新制度になっても変わらないこと(KSA)

JLAcademyが指導者に求めること：

- ・ ラクロス特有の、主体的かつ創造的な行動を尊重する文化を継承、啓発していくこと
- ・ 選手と同じ目線に立ち、共に成長していくこと
- ・ 教えるのではなく、導くことにより、自走を促していくこと

ラクロス指導者に求められるKSA		
1. 姿勢 (A: Attitude) 1) 指導者としての基本姿勢 (1) 選手・チームに対する責任感 (2) 自ら成長しようとする姿勢 (3) 選手と同じ目線に立つ姿勢 2) スポーツ指導者としての基本姿勢 (1) 選手の技術・スキルを向上を追求する姿勢 (2) 初心者・若い選手を育てようとする姿勢 (3) チームの勝利を追求する姿勢 (4) 教えるではなく考えさせる姿勢 3) ラクロスの指導者として持つべき (持ってほしい) 姿勢 (1) ラクロスの楽しさを伝えようとする姿勢 (2) オリジナリティを追求する姿勢 (3) ラクロスの普及・発展を目指す姿勢 (4) 選手に主体的に取り組ませる姿勢 (5) 新たなことにチャレンジする姿勢	2. スキル (S: Skill) 1) 指導者としての基本スキル (1) コミュニケーションスキル ① 選手との基本的な対話 ② 選手を楽しませる力 ③ 選手に成長の意欲を持たせる力 2) スポーツ指導者としての基本スキル (1) 選手のパフォーマンスを見る目 (課題の見極め・整理) (2) ゲーム・チームのパフォーマンスを見る目 (3) 実指導 ① 共通 (笛の使い方など) ② 個人スキル (技術・戦術) ③ グループ戦術 ④ チーム戦術 ⑤ チーム戦略 (4) 安全管理 (5) チームマネジメント 3) ラクロスの指導者としての基本スキル (1) ラクロス固有のスキルを指針に沿って指導する力 (2) ラクロス特有のスキルを指針に沿って指導する力 (3) 指導者を指導する力 (4) 初心者・若年層を指導する力	3. 知識 (K: Knowledge) 1) 指導者としての基本知識 (1) コミュニケーションに関する基本知識 (2) チームマネジメント・チームビルディング (3) コンプライアンス 2) スポーツ指導者としての基本知識 (1) 人・身体に関する知識 ① 安全管理 ② コンディショニング ③ ストレングス ④ 身体のメカニズム ⑤ 栄養 (2) スポーツ・競技スポーツに関する知識 ① ボールゲームへの理解 3) ラクロスの指導者としての基本知識 (1) JLA基本理念・活動方針への理解 (2) ルール (3) 競技スポーツとしての特性 (4) スキル・戦術の体系整理 (5) スキル・グループ戦術の個別要素への理解 ① 個人スキル (技術・戦術) ② グループ戦術 ③ チーム戦術 (6) 指導・練習計画の策定 (7) 指導・練習の運営 (環境準備・オペレーション) (8) JLAの課題・ビジョンへの理解 (9) 世界のラクロス

②新指導者制度の要件一覧

級	B級（新制度）	A級（新制度）	S級（新制度）
有効期間	2年間	2年間	3年間
認定条件	B級認定講習を受講し単位を満たすこと	A級認定講習を受講し単位を満たすこと	S級認定講習を受講し、単位を満たすこと
維持条件	有効期間内にA級講習を受講すること ※A級非認定で、B級維持に値するとされた場合は有効期間2年間延長される。	・毎年継続して協会競技会員登録をしていること ・有効期間内にリフレッシュ講習を受けること ※リフレッシュ講習受講により、有効期間が2年間延長となる。	・毎年継続して協会競技会員登録をしていること ・有効期間内にリフレッシュ講習を受けること ※リフレッシュ講習受講により、有効期間が3年間延長となる。
失効後の復帰	特になし	失効後2年以内であれば、リフレッシュ講習を受けることでA級に復帰可能。	リフレッシュ講習を受けることでS級に復帰可能
可能なこと	・A級認定講習を受講することができる。 【学生リーグ戦関連】 特になし。 ※但し、ベンチ内にA級指導者がいれば、学生リーグ戦にベンチ入りできる。 (あくまでOJT=実地研修を兼ねたサポートメンバー。A級1名につき、B級1名まで。)	・S級認定講習を受講することができる。 ・A級、B級認定講習の講師の対象となる。 【学生リーグ戦関連】 ・学生リーグ戦出場要件である「A級以上指導者」として申請書に登録できる。 ・各試合のベンチメンバーに「コーチ」として登録できる。	・A級、B級認定講習の講師となることができる。 【日本代表関連】 ・日本代表（含：世代別）のヘッドコーチ候補対象となれる。 【学生リーグ戦関連】 ・学生リーグ戦出場要件である「A級以上指導者」としてリーグ戦参加申請時に登録できる。 ・各試合のベンチメンバーに「コーチ」として登録できる。
講習受講要件	・JLA競技会員であること ・受講料5,000円を支払うこと	【認定講習】 ・JLA競技会員であること ・B級保持者であること ・受講料30,000円を支払うこと 【リフレッシュ講習】 ・JLA競技会員であること ・A級保持者であること (またはA級失効後、2年以内であること。) ・受講料8,000円を支払うこと	【認定講習】 ・JLA競技会員であること ・A級保持者であること ・受講への応募時に、実績や志望理由等を提出し、JLAcademyにより参加が認められること ・受講料40,000円を支払うこと 【リフレッシュ講習】 ・JLA競技会員であること ・S級保持者であること (またはS級取得後に失効した状態であること。) ・受講料12,000円を支払うこと

③現制度 と 新制度の要件対照表(B級)

級	B級（現制度）	B級（新制度）
有効期間	5年間	2年間
認定条件	B級認定講習を受講し単位を満たすこと	B級認定講習を受講し単位を満たすこと
維持条件	B級講習またはA級講習（※）を受講すること （※A級非認定で、B級は維持に値するとされた場合）	有効期間内にA級講習を受講すること ※A級非認定で、B級維持に値するとされた場合は有効期間2年間延長される。
失効後の復帰	特になし	特になし
可能なこと	・A級認定講習の受講	・A級認定講習を受講することができる。 【学生リーグ戦関連】 特になし。 ※但し、ベンチ内にA級指導者がいれば、学生リーグ戦にベンチ入りできる。 （あくまでOJT=実地研修を兼ねたサポートメンバー。 A級1名につき、B級1名まで。）
講習受講要件	・協会会員登録(区分:問わず)していること ・受講料5,000円を支払うこと	・JLA競技会員であること ・受講料5,000円を支払うこと

③現制度 と 新制度の要件対照表(A級)

級	A級（現制度）	A級（新制度）
有効期間	7年間	2年間
認定条件	A級認定講習を受講し単位を満たすこと	A級認定講習を受講し単位を満たすこと
維持条件	失効までにリフレッシュ講習を受けること (リフレッシュ講習を受講すると、有効期間7年間延長)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年継続して協会競技会員登録をしていること ・有効期間内にリフレッシュ講習を受けること ※リフレッシュ講習受講により、有効期間が2年間延長となる。
失効後の復帰	特になし。	失効後2年以内であれば、 リフレッシュ講習を受けることでA級に復帰可能。
可能なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・S級認定の対象となる。 ・A級、B級認定講習の講師の対象となる。 <p>【代表関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本代表スタッフへの自薦ができる。 <p>【学生リーグ戦関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生リーグ戦出場要件である「A級以上指導者」として申請書に記名できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・S級認定講習を受講することができる。 ・A級、B級認定講習の講師の対象となる。 <p>【学生リーグ戦関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生リーグ戦出場要件である「A級以上指導者」として申請書に登録できる。 ・各試合のベンチメンバーに「コーチ」として登録できる。
講習受講要件	<p>【認定講習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会競技会員であること ・B級を取得していること ・受講料30,000円を支払うこと <p>【リフレッシュ講習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会競技会員であること ・A級保持者であること 	<p>【認定講習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JLA競技会員であること ・B級保持者であること ・受講料30,000円を支払うこと <p>【リフレッシュ講習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JLA競技会員であること ・A級保持者であること (またはA級資格失効後、2年以内であること。) ・受講料8,000円を支払うこと

③現制度 と 新制度の要件対照表(S級)

級	S級（現制度）	S級（新制度）
有効期間	10年間	3年間
認定条件	強化本部により推薦を受け、理事会により認定されること	S級認定講習を受講し、単位を満たすこと
維持条件	指導者活動の中で、高い成果をあげること	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年継続して協会競技会員登録をしていること ・有効期間内にリフレッシュ講習を受けること ※リフレッシュ講習受講により、有効期間が3年間延長となる。
失効後の復帰	特になし	リフレッシュ講習を受けることでS級に復帰可能
可能なこと	<p>A級、B級認定講習の講師となることができる。</p> <p>【代表関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本代表スタッフへの自薦ができる。 <p>【学生リーグ戦関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生リーグ戦出場要件である「A級以上指導者」として申請書に記名できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A級、B級認定講習の講師となることができる。 <p>【日本代表関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本代表（含：世代別）のヘッドコーチ候補対象となれる。 <p>【学生リーグ戦関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生リーグ戦出場要件である「A級以上指導者」としてリーグ戦参加申請時に登録できる。 ・各試合のベンチメンバーに「コーチ」として登録できる。
講習受講要件	特になし	<p>【認定講習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JLA競技会員であること ・A級保持者であること ・受講への応募時に、実績や志望理由等を提出し、JLAcademyにより参加が認められること ・受講料40,000円を支払うこと <p>【リフレッシュ講習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JLA競技会員であること ・S級保持者であること （またはS級取得後に失効した状態であること。） ・受講料12,000円を支払うこと

④現制度からの移行(B級)

主なポイント：

- ・有効期間を5年間から2年間に変更（段階的に変更）
- ・A級認定講習を受講し「B級維持に値する」と判断された場合は、2年間期間が更新される（現制度から変更なし）

<現在B級指導者資格をお持ちの方（2023年までに取得した方）>

現在保有のB級資格の有効期間は5年間のままです。有効期間内はA級認定講習の受講資格を有し、A級指導者資格を取得することができます。

※有効期間内にA級講習を受講し「A級認定は見送るが、B級維持に値する」と判断された場合は、そこからB級指導者資格の有効期間は2年間となります。

<これからB級指導者資格を取得しようとしている方（2024年以降に取得する方）>

2024年にB級指導者資格を取得した場合の有効期間は4年間、2025年に取得した場合の有効期間は3年間です。

2026年以降の取得の場合は、有効期間は2年間となります。

有効期間内はA級認定講習の受講資格を有し、A級指導者資格を取得することができます。

※有効期間内にA級講習を受講し「A級認定は見送るが、B級維持に値する」と判断された場合は、2年間B級指導者資格の有効期間が延長されます。

※失効した場合、資格保有のためには、B級認定講習を新規受講する必要があります。

受講年	有効期限	2019/4-	2020/4-	2021/4-	2022/4-	2023/4-	2024/4-	2025/4-	2026/4-	2027/4-	2028/4-	2029/4-
2019	2024/3/31											
2020	2025/3/31											
2021	2026/3/31											
2022	2027/3/31											
2023	2028/3/31											
2024	2028/3/31											
2025	2028/3/31											
2026	2028/3/31											
2027	2029/3/31											
2028	2030/3/31											

凡例

 B級指導者認定期間

④現制度からの移行(A級)

主なポイント：

- ・有効期間を7年間から2年間に変更
- ・現A級資格保有者は、新制度移行講習（無料）を受講後、新A級保有者に移行（以降、有効期間が2年間に）
- ・新制度へ移行後は、有効期間内にリフレッシュ講習（有料）を受講することで2年間有効期間を更新

<現在A級指導者資格をお持ちの方（2023年度までに取得した方）>

現在A級資格を保有している方は、有効期間が資格取得年度に応じて段階的に短縮され（下記図参照）、有効期間内に新制度移行講習（無料）を受講することで、新制度へ移行することができます。移行後は有効期間が2年間に変更され、有効期間内に有料のリフレッシュ講習を受講することで有効期間が2年間延長されます。

<これからA級指導者資格を取得しようとしている方（2024年以降に取得する方）>

2024年度以降にA級指導者資格を取得した場合、有効期間は2年間となります。期間内にリフレッシュ講習（有料）を受講することで有効期間が2年間延長されます。

受講年度	有効期限	2016/4-	2017/4-	2018/4-	2019/4-	2020/4-	2021/4-	2022/4-	2023/4-	2024/4-	2025/4-	2026/4-	2027/4-	2028/4-
2015	2023/3/31							●		◆		●		●
2016	2024/3/31								●		◆		●	
2017	2024/3/31									◆		●		●
2018	2025/3/31									◆		●		●
2019	2025/3/31									◆		●		●
2020	2025/3/31									◆		●		●
2021	2025/3/31									◆		●		●
2022	2025/3/31									◆		●		●
2023	2026/3/31								★		◆		●	
2024	2027/3/31									★		●		●
2025	2028/3/31										★		●	

凡例

★	旧制度認定講習受講	□	旧制度有効期限
★	新制度認定講習受講	□	新制度有効期限
●	旧リフレッシュ講習		
◆	移行講習		
●	新リフレッシュ講習		

④現制度からの移行(S級)

主なポイント：

- ・現S級資格保有者は、オンラインの説明会を経て、新S級・新A級どちらかへの移行、もしくは資格返納を選択。
- ・A級資格保有者に向けて、S級指導者認定講習を新設。
- ・S級指導者資格の有効期間は、取得した翌年度から3年間。有効期間内にリフレッシュ講習を受講することで、3年間有効期間を更新。

<現在S級指導者資格をお持ちの方>

全ての現S級指導者に向けて、オンライン説明会を実施します。

今後のS級指導者に期待される活動を説明した上で、新S級・新A級どちらかへの移行、もしくは資格返納を選択していただきます。

新S級指導者を選択した方は、そこから3年間が有効期間となり、有効期間内にリフレッシュ講習を受講することで、3年間有効期間が延長されます。

<これからS級指導者認定講習を受講される方>

今後のS級指導者認定講習会の案内をご確認ください。

⑤Q&A(よくある質問)

B級指導者は、そもそもベンチ入りできなくなってしまうのでしょうか？

- ・ A級指導者1名に対して、B級指導者1名までコーチとしてベンチ入りは認められます。*あくまでOJT（実地研修）という趣旨です。
- ・ それ以外の場合、「コーチ」としてベンチ入りはできません。
- ・ スタッフとしてベンチ入りすることは可能です。（その場合、コーチが持つ権利は利用できません。）

B級指導者がコーチとしてベンチ入りできない理由は何ですか？

- ・ B級は、A級（基礎級）取得に向けた「導入級」であるという整理のもとです。

認定を受けた年から有効でしょうか？期限はどうなりますか？

- ・ 有効期間の開始時期は認定講習時期によって異なります。
- ・ 認定当年度から有効の場合もあれば、認定翌年度（4/1～）より有効となる場合があります。各講習の案内をご参照ください。
- ・ 有効期間は年度毎で管理されている為、期限は3月31日となります。

有効期間が短くなり、リフレッシュ講習が義務化されるということですが、仕事や家庭の都合で更新ができなかった場合、

B級取得から再スタートでしょうか？

- ・ A級指導者の場合は、失効から2年以内にリフレッシュ講習を受ければ、復帰可能です。
- ・ S級指導者の場合は、失効したとしてもリフレッシュ講習を受講することで、いつでも復帰可能です。

※ 但し失効している間は、各級の認定指導者としての各種権利はなくなります。

お問い合わせ先

お問い合わせは、JLAcademy（jlac.academy.hq@gmail.com）までご連絡ください。

お問い合わせの際にはメール件名を「指導者制度の変更について」とし、本文に「所属チーム（又は指導予定チーム）、氏名、（わかれば）メンバー番号、お問い合わせ内容」をご記載くださいますようお願いいたします。